

学校教育目標

知識をきわめ 意気をねり ゆかしき心を養う子ども

- ①学び合い、考えを深め、表現する子ども
- ②気力を養い、体を鍛え、何事にも粘り強く取り組む子ども
- ③心を豊かに育み、互いに思いあえる子ども

第2期上田市教育支援プラン

- ・学力の定着・向上
- ・豊かな心と健やかな身体の育成
- ・すべての子どもの学びを支援
- ・地域とともにある学校づくり

児童の実態

- 元気で、明るく、素直な子どもが多い。
- 自然と関わり合いながら活動することを好む。
- 友と関わり合いながら、活動を進めていくことができる。
- △自分の課題を見つけて学習を進めていくことが苦手である。
- △自分の考えを自分の言葉で表現することができにくい。
- △相手のことを考えた言動ができない子どもがいる。

保護者・地域の願い

- *一人ひとりの子どもに確かな学力をつけるために、「分かる授業」「集中して取り組む授業」
- *子どもたちの個性を尊重し、お互いを認め支え合う環境作り
- *一人ひとりの可能性を引き出し、鍛え・伸ばす学校行事や学年・学級活動を工夫
- *悩みごと、心配ごとはいつでも先生や友だちに相談ができる

願う子ども像

- 自ら考え、表現し、学習内容をしっかり身につけていく子ども
- 体を鍛え、何事にも意欲的に粘り強く取り組む子ども
- 豊かな心を育み、互いに助け合い支え合える子ども

本年度の重点目標

①学力向上

基礎基本的内容の確実な定着と活用力の育成

- 授業力向上
- ☆授業の3観点を意識した授業
 - ・明確な学習課題の設定
 - ・話し合う活動を取り入れる
 - ・学習問題や学び方についての振り返り
 - *振り返りの時間を5分確保し、授業のまとめを確実に行う。生活実態調査で「学習のまとめがいつもある」と回答する児童、7割をめざす。
- 指導力向上
 - ・3、4年生から外国語、外国語活動先行実施に伴い、教材研究をより深める(3~6年)
 - ☆重点研究部会で、教材や授業展開等の研修
 - ☆外国語活動での一人一公開授業
 - 家庭と連携した家庭学習の習慣化自主化
 - ☆放課後スクールの実施とあり方の見直し
 - ☆生活・学習ノート「紡ぐ」の活用

②人権教育の充実

思いやりの心を育み、自他のよさを認め合う教育活動

- ・どの子ども居場所を感じられる学校・学級
- ・自己肯定感を高められる集団活動
- ・自己の心と向かい合う道徳の授業
- ・全学年で取り組む福祉活動・交流教育
- ・仲良しグループでの活発な交流活動

中長期的目標
人間関係力を高めていくことができる学校
子どもがめあてをもって、生き生きと活動し、学力、

③体力向上

体を動かす楽しさを知る。

- ・体ほぐしの運動・体力づくりの運動の機会増加、外遊びの一層の促進
- ・運動の特性を活かした授業づくり
- ・体力テスト・生活調査から自己の健康や体の見直し
- ・月1度講師を招聘して体幹づくり
- *立ち幅跳び・50m走の記録で全国平均を目指す。

④地域の人材・教育力の活用

地域と共に進める教育活動

- ・地域とかかわる生活科・総合的な学習の時間(体験活動)
- ・職場体験学習の実施
- ・学習支援ボランティアの募集と活用
 - *学校運営委員会を主体とした塩川CSの活発化と教科支援の立ち上げ
- ・地域講師を招聘した授業や活動の充実

⑤幼保・小・中連携

校種間のスムーズなつながり

- ・小1スタートカリキュラムの実施
- ・1、5年生を中心とした幼保との交流
- ・校種間の授業参観と情報交換
- ・「赤ペン先輩」「出前授業」などの中学校からの学習支援

目指す教師の姿

- 日々の授業の充実を図り、一人一人の学力の定着、向上に努める
- 子ども、保護者との信頼関係を築くことに努める
- 地域や地域の方の教育力を生かし、地域と共に塩川小学校の教育活動を進めていく。